



萧暉榮的藝術

題首子



河北教育出版社

图书在版编目(CIP)数据

萧晖荣 / 萧晖荣绘. — 石家庄: 河北教育出版社,
2006.8

ISBN 7-5434-5379-7

I. 萧 ... II. 萧 ... III. 中国画—作品集—中
国—现代 IV. J222.7

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2005) 第 057810 号

主催 中國國際文化交流中心

西泠印社

香港各界文化促進會

協力 (財)日中友好會館

後援 中國駐日本國大使館

中國美術家協會

(社)日中友好協會

日本國際貿易促進協會

日本中國文化交流協會

日中友好議員連盟

(財)日中經濟協會

(社)日中協會

中國畫研究院

中國西安美術學院

中國《人民日報》神州畫院

中國江蘇省中國畫院

中國浙江大學藝術學院

香港《文匯報》

香港美術研究會

香港中國藝苑研究學會

香港書畫文玩學會

香港藝苑

文字總監 / 鄭一奇

責任編輯 / 康健 康 麗

設 計 / 鄭子杰 王 梓 賈 英 張 凱

翻 譯 / 河野 道房 西尾 步 吉村 富美子

下野健兒 三浦美穗

出版發行 / 河北教育出版社

(石家庄市聯盟路705號, 050061)

出 品 / 北京頌雅風文化藝術中心

開 本 / 635×965毫米 1/16 11.5印張

版 次 / 2006年8月第1版 第1次印刷

書 號 / ISBN 7-5434-5379-7

定 價 / 156.00元

版權所有, 翻印必究 法律顧問: 陳志偉

中央人民政府駐香港特別行政區聯絡辦公室

LIAISON OFFICE OF THE CENTRAL PEOPLE'S GOVERNMENT
IN THE HONG KONG SPECIAL ADMINISTRATIVE REGION

祝 辭

“蕭暉榮中国画展”は、日中友好会館が初めて香港の画家のために開催する展覧会です。同展の開催によって、中日両国の民間の文化交流が促進されるほか、東京と香港との芸術界の交流・協力も強化されるでしょう。よって、これは大変意義のある展覧会であります。

蕭暉榮教授は中国画壇から注目され、劉海粟、吳作人、朱屺瞻、陸儼少、賴少其、程十髮など多くの芸術界の巨匠から高い評価を得た、優秀な中国人画家です。しかし、初の個展を開こうとの思いに至ったのは、昨年、還暦を迎えられてからでした。そして中国8都市を一举に巡る純学術的な長旅をされ、今年の夏には招きに応じて浙江大学で個展を開催、特別講義もなさいました。このような活動は、蕭氏の人生における新たな境地といえましょう。個展はいたる所で好評を博しました。

今回展示されるのは、威風堂々たる大作ではありません。趣溢れる小作品もあります。それらどの作品にも新鮮かつ深みのある味わいが満ち満ちており、観る者に「美」の楽しさを感じさせてくれます。特に、蕭教授が描く梅の花は、墨と色がとけ合って錦のように生い茂り、生気を光り輝かせており、独特の風格を有しています。蕭教授は梅という木に置き換えて梅を通じて人を詠じ、松や梅を通じて中華民族の偉大な精神と高尚な品格をほめたたえているのです。さまざまな色を用いて満開に咲かせた梅の花は、中華民族の強大さ、団結力、調和性を象徴しています。その作品に表れているのは非凡な気概と愛国心、そして中国の伝統文化を揺るぎなきものにするとの立場と社会に対する愛情です。喜びに溢れ、超越した技巧で時代の精神を色濃く映した蕭教授の作品は、観る者全てを深い感動に導いているのです。

悠久の歴史を有する中華文化は、中華民族の偉大なる精神を形作り、調和と質素を尊ぶ民族としての品性を育んできました。蕭暉榮教授の半世紀にわたる過程は実践そのものであります。氏は極めて大きな情熱をもって仕事に励み、民族の伝統芸術を広く知らしめるため、そして中国と諸外国との文化交流のために、積極的にかつ重要な貢献をなされてきました。その精神は人々から尊重、称賛されております。

“蕭暉榮中国画展”のご成功を心よりお祝い申し上げます。

中央人民政府

在香港特別行政區連絡弁公室

副主任 李剛

二〇〇六年九月

村上立躬理事長

賀詞

蕭暉榮先生從少年時代起，就立志做一名畫家，青年時期與中國畫壇多位著名畫家、評論家交往并得到指教，開創了自己繪畫獨特的境界，成為一流畫家。

現在，他的繪畫揮灑自如，充分表現心境，得到觀眾的喜愛。特別是梅花獨特的表現手法美輪美奐。

他的梅花不僅有紅色，還有蘭色、黃色和粉色等多種絢麗色彩，獨樹一幟，不僅在香港畫壇，在全中國範圍得到好評。

蕭先生的實力受到萬人矚目，他的作品連續五次入選五年一次的全國美展，他的多件作品為故宮博物院、釣魚臺國賓館等收藏，他的實力在廣範領域得到高度評價。

蕭先生還在藝術作品收藏和藝術史研究領域享有很高聲望，同時，作為企業界人士在眾多領域施展才干。他是香港畫壇的重鎮，也是眾多青年畫家追崇的目標。

日中友好會館此次首次舉辦香港畫家個展感到十分榮耀，希望通過本展，加強與素有“東方之珠”美譽的香港的文化交流，並加強日中兩國間的相互理解。

最後，祝蕭先生康健發達，祝畫展取得圓滿成功。

財團法人 日中友好會館

理事長 村上立躬

二〇〇六年九月

村上立躬理事長

祝 辭

蕭暉榮先生は少年時代から画家を志し、青年時代は数多くの著名な画家や評論家と親しく交わり、多くを学び吸収しながら、独自の境地を会得し、本格的に一流画家としての地位を確立され、画業を発展されて来られました。

現在 その作風は心象を意のままに書き出し、観る人達を魅了していますが、特に梅花に託した表現はまことに見事と申せましょう。

紅色のみならず、青色、黄色、桃色などの色彩によって鮮やかに描き出された梅の花は、独特の風情があり、香港画壇のみならず、全中国からの好評を博しております。

また、蕭先生の力量は万人の認める処で、その証左に5年に一回開催される中国全国美術展に5回連続して入選されており、それらの作品は故宫博物院、釣魚台国賓館など要所に多数収蔵されており、広く実力を高く評価されています。

現在、蕭先生は芸術作品の收藏家ならびに芸術史研究者として名高い地位を確立しただけではなく、企業の代表を務めるなどして多方面で精力的に活躍されていますが、画業では香港画壇の中心的存在で多くの若手画家達の目標となっているのも、喜ばしいことと思います。

香港画壇で活躍する画家の個展は日中友好会館美術館でも初めてのことで光栄に存じておりますが、此度の画展を通して、「東方之珠」と讃えられている香港との文化交流が増進し、日中両国の相互理解が深まることを念願しております。

終わりに蕭先生の益々のご健勝ご活躍と本画展の円満な成功を心からお祈り申し上げます。

財団法人日中友好会館

理事長 村上立躬

二〇〇六年九月



中國國際文化交流中心
CHINA INTERNATIONAL CULTURE EXCHANGE CENTER

賀詞

賀蕭暉榮中國畫展

弘揚中華文化，增進中日友誼

中國國際文化交流中心

副理事長 林麗韞

林麗韞

丙戌年夏



中國國際文化交流中心
CHINA INTERNATIONAL CULTURE EXCHANGE CENTER

祝 辭

蕭暉榮中国画展を祝し

中国文化を発揚し、中日友好を促進することをお祈りいたします。

中国国際文化交流センター

副理事長 林麗韞

丙戌（二〇〇六年）夏



中國國際文化交流中心
CHINA INTERNATIONAL CULTURE EXCHANGE CENTER

賀詞

蕭暉榮先生是出生於廣東的香港著名國畫家，自上世紀六十年代從事美術創作，經過長期勤奮努力，成為多才多藝，造詣深厚，聞名畫壇的藝術家。他早於八十年代初即與中國著名畫家黃幻吾、周昌毅聯展於香港大會堂和美國圖書館，與朱屺瞻、陸儼少、賴少其等大家合作。去年先後在香港、南京、杭州、廣州、北京、上海等中國的許多城市舉辦巡回展覽，好評如潮。作品《春風萬里圖》被北京故宮博物院收藏。

蕭先生擅長繪製花卉、山水，亦作人物，尤其鍾情梅花。他取法傳統寫意，不拘一格。他繪梅花不同於中國傳統文人之小情小景，或水墨簡淡，疏影橫斜，散發着一種清俏高傲的氣息；或以墨為骨，時有色彩相伴，構圖穿插多姿，雖是“香海”却不失“清韻”的情致。尤其是他的“繁梅”之作，筆力老健，墨彩沉着，密而有序，亂中有法，畫面大雅不俗，顯現出生機勃發的時代氣息。

蕭先生又是一位熱心文化交流的活動家。他從上世紀八十年代移居香港後，致力於弘揚祖國的傳統文化，宣傳香港文化是中華文明的一部分，為增強香港人的凝聚力和民族自豪感貢獻了自己的一份力量。

中國國際文化交流中心是從事國際文化交流的非政府機構。通過民間的文化交流，加強中國人民與世界各國人民的相互了解，增進友誼，促進世界和平，是我中心的宗旨。中日兩國是一衣帶水的鄰邦，兩國人民的友好交往古已有之。二十多年來，我中心曾與日本各界開展過文藝、學術、政治、經濟等諸多方面的交流。在此，作為“蕭暉榮中國畫展”的主辦機構，我願意向日本人民介紹蕭暉榮先生的中國畫作品，希望通過蕭暉榮先生的作品，日本觀眾能夠了解蕭先生高超精妙的繪畫神采，同時能夠感受到中國傳統文化在現代中國所呈現出的勃勃生機。

中國國際文化交流中心

秘書長 盧紅生

二〇〇六年七月



中國國際文化交流中心

CHINA INTERNATIONAL CULTURE EXCHANGE CENTER

祝 辭

広東省出身の蕭暉榮先生は、香港で活躍されている中国画の画家です。1960年代より創作活動を始め、長期間にわたるご努力を経て、多才多芸で造詣の深い、画壇に名だたる芸術家となりました。80年代初頭には中国の著名画家である黄幻吾、周昌穀両氏とともに香港シティホールとアメリカの図書館において展覧会を開催、朱屺瞻、陸儼少、賴少其の各氏と作品を共同制作されています。昨年には香港、南京、杭州、広州、北京、上海等中国の多くの都市で巡回展を開催されました。先生の作品『春風万里図』は北京の故宮博物院に所蔵されています。

花卉画、山水画、人物画を得意とされる蕭先生が、特に愛情を傾けられておられるのが梅の花です。その作画は「写意」という中国画伝統の手法を取り入れた、型にとられないもので、先生の描く梅の花はこれまでの中国の文人による小景と趣を異にしています。ある作品は淡い墨による木の影が横や斜めに流れ、誇り高き息吹を漂わせており、ある作品は墨を基本としながらも時に色彩を伴い、多様な構図を見せています。彩色していてもその孤高の風格が失われることはありません。特に『繁梅』という作品は、力強い運筆と落ち着いた色合いで、密ではあるけれども支離滅裂ではなく、乱の中に内在の連帯感があります。風雅さ、そして生き生きとした時代の息吹が、画面にはっきりと現れているのです。

蕭先生はまた、文化交流にご熱心な活動家でもあります。80年代に香港に移住後、祖国の伝統文化の発揚に尽力し、“香港文化は中華文明の一部である”と宣伝されてきました。そして香港市民の団結力と民族の自尊心を向上させるため、自らの力を捧げてこられました。

中国国際文化交流センターは、国際文化交流に携わる非政府組織です。民間の文化交流を通じて中国人と世界各国の人々との相互理解を深め、友情を増進し、世界平和を促進すること、これが当センターの趣旨であります。中日両国は一衣帯水の隣国であり、両国民の友好往来は古より存在しています。当センターは二十数年間にわたり、日本の各界の皆様方と文芸、学術、政治、経済など多分野における交流を行ってきました。“蕭暉榮中国画展”の主催者として、私どもは日本の皆様に蕭暉榮先生の中国画をご紹介します。ご来場の日本の皆様にその極めて精妙な絵画の神韻を理解していただくと同時に、先生の作品を通じて、現代における中国伝統文化の活力を感じ取っていただきたいと希望しております。

中国国際文化交流センター

秘書長 盧紅生

二〇〇六年七月

西泠印社

賀詞

香港著名畫家蕭暉榮先生與浙江有特殊緣分，他不單是西泠印社社員，而且是浙江大學中國藝術研究所研究員。去年他在中國包括北京、香港、上海、南京、杭州、西安等九個城市巡展，今年浙江大學109年校慶之際又特為蕭暉榮先生舉辦了個人創作展，蕭暉榮作品已獲得中國美術界很高評價。

今天蕭暉榮的作品移師東京，成為“日中友好會館”首次為香港畫家舉辦之展覽。本人應邀出席開幕式並主持蕭暉榮先生學術講座，有機會同日本美術界和本社日本社員們共同欣賞和研究蕭暉榮先生的藝術成就。深感榮幸！

蕭先生在上世紀七八十年代，就與上海的朱屺瞻、劉海粟、唐雲、陸儼少等海派大師有廣泛交游，又與北京的吳作人、黃苗子、王蒙、黃永玉等來往甚密，一九八二年與浙江美院周昌穀教授聯展於香港大會堂和美國圖書館。他為人謙恭摯誠，熱心助人，是諸多畫壇前輩年輕畫友，是我們同輩書畫家之筆墨知己，更是青年藝術家尊敬的畫壇前輩。

西泠印社很高興參與主辦本次畫展，藉此宣揚西泠印社傳統精神以弘揚祖國傳統藝術，為促進中日民間文化交流做貢獻！

衷心祝願本次展覽獲得圓滿成功！

陳振濂 

陳振濂

西泠印社秘書長

浙江大學藝術學院院長

二〇〇六年八月

西泠印社

祝 辭

香港の有名画家、蕭暉榮先生と浙江には特別な縁があります。先生は西泠印社の社員であるだけでなく、浙江大学中国芸術研究所の研究員でもあり、昨年には北京、香港、上海、南京、杭州、西安など中国の9つの都市で巡回展を開催されましたが、浙江大学では今年、創立109周年を記念して、先生の個展を特別開催いたしました。蕭暉榮先生の作品は中国美術界から大変高い評価を博しています。

本日、蕭暉榮先生の作品が東京にわたり、「日中友好会館」初となる香港画家のための展覧会が開かれます。開幕式に出席して蕭暉榮先生の学術講座を司会できますこと、そして蕭暉榮先生の芸術的業績を日本の美術界および当社の日本人社員とともに鑑賞、研究できる機会を得られましたことは、極めて光栄であります。

蕭先生は1970年代から80年代にかけて、上海の朱屺瞻、劉海粟、唐雲、陸儼少といった巨匠たちと広く交遊し、北京の呉作人、黄苗子、王蒙、黄永玉の各氏らと交際を深められました。1982年には浙江美院の周昌穀教授と香港のシティホールおよび米国図書館で展覧会を共催されています。真摯で礼儀正しく、親切で奉仕の心に溢れた先生は、画壇に身を置く多くの先輩方にとって若き画友であり、我々同年代の書画家たちの真の友、さらには青年芸術家たちが尊敬する画壇の先輩であります。

西泠印社がこの度の画展開催に参画し、当社の伝統精神を広く知らしめることによって祖国の伝統芸術を発揚し、中日の民間文化交流の促進に貢献できますことをうれしく思います。

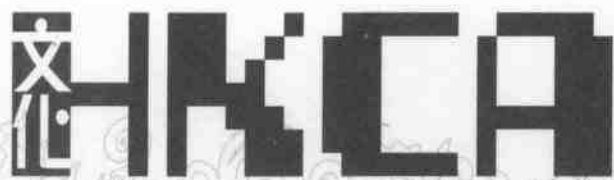
この度の展覧会が円満な成功を収められますよう衷心よりお祈り申し上げます。

陳振濂

西泠印社秘書長

浙江大学芸術学院院長

二〇〇六年八月



香港各界文化促進會

賀詞

我們有機會參與主辦在日本東京日中友好會館舉行之“蕭暉榮中國畫展”，深感榮幸，謹此代表本會同仁祝賀畫展圓滿成功！

蕭暉榮教授自幼聰穎好學，治藝嚴謹，尊師重道，喜愛傳統，為人謙虛重情感。他雖從未進入美術院校，年僅弱冠已為藝壇諸多前輩所贊賞。近半個世紀以來，他通過長期交游、鑒賞、勤功、悟道而登上中國藝術殿堂，是當代極具大家風采之中國畫名家。

蕭暉榮教授於一九八一年初來港定居後，翌年與當代名家黃幻吾、周昌毅聯展於香港大會堂和美國圖書館，並加入“庚子畫會”、“香江藝交社”等愛國藝術團體，與香港愛國藝術家組織成立“香港美術研究會”。為香港平穩回歸，積極參與文博界活動。從一九八四年起作品連續入選每屆全國美術作品展。二十多年來他在沒有任何援助之情況下，僅靠自己的毅力和決心，為自己創造了創作的環境，更支持很多中國書畫名家來港交流，為弘揚祖國傳統文化藝術貢獻良多，如劉海粟、陸儼少等諸多大師來港均得蕭君熱情接待。他曾主辦過賴少其、黃永玉、黃苗子、饒宗頤等數十個具規模和影響力之展覽，長期為香港和內地美術界做了大量工作，積極宣揚香港文化為中國文化之一部分。而他本人却在六十初度方考慮自己個展。兩年來他的十次個展令中國美術界矚目，深獲社會各界好評。而今次踏出國門，漫步東瀛，實在為祖國和港人爭光！

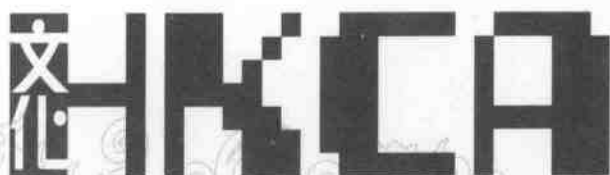
中國與日本，在傳統文化藝術上有着血緣關係和長期之交流，兩國人民自古至今有深厚之友誼，蕭暉榮教授作為中國藝壇具影響之名家訪日，又是日中友好會館第一次為香港畫家舉辦個展，其意義深長。

願中日人民友好與日俱增，蕭暉榮的藝術譽滿東瀛！

莊世平

香港各界文化促進會會長

二〇〇六年九月



香港各界文化促進會

祝辭

東京の日中友好会館で行われる“蕭暉榮中国画展”を主催する機会を得、光栄に存じます。ここに当会を代表し、同展の成功に対して祝賀の意を表します。

蕭暉榮教授は幼少の頃より聡明で、謹厳に芸術に取り組み、師を尊び道徳を重んじてこられました。伝統を愛するそのお人柄は大変謙虚であります。美術学校などには入学せず、わずか20歳の頃からすでに芸術界の多くの先輩達の称賛を浴びるなど活躍されていました。彼らとの交際や作品の鑑賞、修行を約半世紀の長きにわたって重ね、芸術の殿堂まで上り詰められました。大家の風格を持つ現代中国画の巨匠であります。

1981年初頭に香港に移住した蕭暉榮教授は、その翌年、当代の著名画家である黄幻吾、周昌毅両氏と香港のシティホールおよび米国図書館において展覧会を開催、「庚子画会」「香江藝文社」などの愛国芸術団体に加入され、さらには香港の愛国芸術家とともに「香港美術研究会」を設立されました。また、香港の平和的返還のため、各種文化活動にも積極的に参画されました。その作品は1984年から全国的美術作品展で連続入賞を果たしております。この二十年あまりの間、蕭氏はいかなる援助も受けず、自らの気力と決意のみを糧に創作活動のための環境を作りあげてきました。そして祖国の伝統文化と藝術を発揚するため、中国の書画家の大家を数多く香港に招請してきました。例えば、劉海粟、陸儼少などの中国画の巨匠も来港時、蕭教授から温かいもてなしを受けており、過去には頼少其、黄永玉、黄苗子、饒宗頤らの、規模と影響力を兼ね備えた展覧会も数十回開催されています。蕭教授は香港と中国本土の美術界のため、長い時間をかけて多くの仕事に取り組み、香港文化が中国文化の一部であることを積極的に宣伝してきました。そのため、蕭教授が自らの個展について考えられたのは60歳を過ぎてからで、この2年間で10回行われた彼の個展は中国美術界の注目を集め、各界から高い評価を得ました。国を越え、日本の地で開催する今回の個展は、祖国と香港の人々のために勝ち取った栄光といえましょう。

伝統文化そして伝統芸術において、中国と日本には血縁ともいえる関係と長期にわたる交流の歴史があり、両国民の間には古より今日にいたるまでの厚い友情があります。蕭暉榮教授は、中国芸術界に影響力のある大家として訪日し、日中友好会館で香港の画家としては初めて個展を開きます。その意義は極めて深長であります。

中日両国民の友好がますます深まり、蕭暉榮芸術の名声が日本に広まることを願ってやみません。

香港各界文化促進会

会長 莊世平

二〇〇六年九月

目 錄

蕭暉榮的藝術 朱屹瞻 /1

不一樣的請客“吃飯” 王蒙 /7

多重的身份 多維的成就

——談我認識的藝術家蕭暉榮教授 劉大為 /12

密萼繁花燦若霞 蕭平 /20

由“暗香浮動”到“萬玉爭輝”

——品味蕭暉榮中國畫展 馬鴻增 /24

專介蕭暉榮 蕭遙天 /28

圖版部分 /33

野趣 /33 雨後 /34 葫蘆 /35 潑墨黃山 /37 三友圖 /39 雙清圖 /40
紅梅小卷 /41 戴月歸圖 /43 屈子行吟圖 /44 牡丹軸 /45 野趣圖 /46
春色 /47 水仙寫生 /48 蕉梅圖 /49 壽石圖 /50 迎春圖 /51
月好風幽 /53 寒香圖 /54 春光無限好 /55 雨潤春光 /56 梅花手卷 /57
祖國萬歲 /58 三高圖 /59 牡丹梅花圖 /60 梅石圖 /61 農家風味 /61
大富貴圖 /61 梅花三弄 /62 田園風物 /63 金秋魚肥 /65 芭蕉 /66
春醉圖 /67 紅梅賦 /68 疏艷素妝 /69 心梅 /70 萬玉爭輝 /71
梅竹圖 /73 一枝先破玉溪春 /74 三聯屏老紅圖 /75 雪晴月上晚風香 /77
松梅圖 /78 君子同盟圖 /79 暗香浮動月黃昏 /81 香海清韻——萬玉生輝 /82
超山梅花記 /83 香海清韻 /85 歡喜的春天 /87 梅友興會圖 /89 古藤 /91
松梅頌 /93 梅雪圖 /95 梅月圖 /95 梅石圖 /96 幽穀寒香 /96 春色圖 /97
香江晨曲 /101 朝暉春雪 /103 石榴味 /105 春訊 /107 同春圖（局部） /108
國色芳姿圖 /109 東風第一枝 /111 蔬香果紅 /113 水仙圖 /115 農家風味 /116
四時佳果寫生 /117 萬玉迎瑞圖 /125 花好月圓人壽 /127

常用印章 /129

蕭暉榮年表 /133

目 録

蕭暉榮の芸術 朱紀瞻 /4

同じではない「会食」 王蒙 /9

多種の地位 多岐にわたる業績

——私の認識する芸術家、蕭暉榮教授について 劉大為 /16

密粵繁花、燦として霞のごとし 蕭平 /22

「暗香浮動」から「万玉争輝」に至るまで

——蕭暉榮中国画展を鑑賞して 馬鴻增 /26

特別紹介蕭暉榮 蕭遠天 /29

図版部分 /33

常用印鑑 /129

蕭暉榮年表 /142



張大千為蕭暉榮題書畫家 陳荆鴻（張大千生前好友）跋

蕭暉榮先生是我熱愛的年輕畫友，雖然他比我小五十七歲，但彼此却成了忘年之交、筆墨知己。他是一位很有作為的青年人，我很佩服他。

蕭君天資聰穎，為人謙虛篤厚，自小簡樸好學，尤喜書畫。他讀完中學便無法再深造，經歷不少特殊環境的考驗，在風浪中自生自長，歷盡坎坷。他學畫無師承，也從沒進過專門學校，僅靠刻苦自學、勤勤懇懇的耕耘而成自己的事業，今已為畫壇所矚目，是位卓有成就的青年畫家，在海外享有聲譽。暉榮將搞個人畫展和出版畫集，約我作序，我甚樂意，為他寫幾個字。

暉榮一九四七年出生於廣東潮陽縣穀饒溪美村的一個華僑家裏，少時曾務農種穀，為不忘根本，故取字“穀人”。畫室名“潔思園”，作畫常署“潔思園翁”、“潔思園主人”、“潔思居士”。工山水、人物、花卉，且對工藝美術有深入研究，他是中國畫家，又是工藝美術家。

一九七二年到一九七五年間我休病在家，由亡友謝之光介紹，當時他已是一位工藝美術家，每年出席兩季中國出口商品交易會，并時時有機會作京滬江浙之旅。因此我們常見面，共同研究繪畫藝術。自一九八一年春，蕭君一家定居香港後，我們見面少些，然我經常為他取得的成績而高興。

蕭暉榮具有多方面的藝術才能，十多歲便步入藝術家生涯，一九六五年就有作品發表於《南方日報》和入選汕頭地區美展。他曾從事工藝美術創作及領導工作十年，於一九七一年創辦汕頭溪美工藝美術社，歷任社長和總設計之職。他創作藝術品及培養人材眾多，并為國家爭取不少外匯，他年僅弱冠已是工藝美術界的著名人士。對於他事業的成功發展，南洋學者蕭遙天教授在《專介蕭暉榮》一文（一九八二年九月連載於香港《華僑日報》）有作評價：“暉榮是一塊搞藝術的好材料，他要發展，環境不能阻撓他。暉榮能跨進藝術門檻，也見毅力與決心之偉大。我以前曾經過某風景勝地，山崖老榕聳起，幹可三人合圍，而幹中則夾抱一顆可達二千觔的大石，上面綠葉繁陰，下面盤根錯節，構成不凡奇景。據當地人講，這棵老榕，本來是天上鳥糞滴下來的榕子，為風吹入石縫，它要冒出地面，却被大石壓住，而它終於冒出來了，慢慢盤抱着大石，更把大石騰起，夾於懷中，暉榮的前途有如此樹。”

一九七一年到一九八〇年這十年的工藝美術創作中，暉榮的藝術作品常被國家選送出國展覽和購藏，主要作品有《松齡鶴壽》、《人壽年豐》及《神仙祝壽》，分別於一九七二